

京都府立医科大学附属病院で早期食道癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

早期食道癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術時の鎮静剤に関する 調査へのご協力をお願い

今回、京都府立医科大学は、早期食道癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術時の鎮静剤に関する研究を実施いたします。そのため、過去に京都府立医科大学附属病院で早期食道癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

課題名 表在型食道癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術に及ぼす鎮静剤の影響

研究の目的

早期食道癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を施行する際には、長時間の治療になることが一般的です。鎮静剤は、患者様の不安や不快を取り除くために、そして治療成績を向上させるために不可欠とされています。一方で、鎮静のレベルを調節することが不十分なために、患者様に安全性に問題があることが報告されています。本研究の目的は、早期食道癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術時の鎮静剤の有用性と安全性を検討することです。

研究の方法

・対象となる患者様について

平成23年1月1日から平成27年3月31日までの間に、京都府立医科大学病院で食道の粘膜下層剥離術を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

早期食道癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術のときに鎮静剤の種類ならびに使用量を確
認し、治療成績や偶発症との関係を調べます。解析の結果、有効な薬剤や使用方法が明らかになった場合、今後の治療に活用されます。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、平成29年4月30日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

本研究は、京都府立医科大学医学倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都府立医科大学消化器内科

職・氏名 助教 土肥 統 電話：075-251-5519

研究責任者

京都府立医科大学消化器内科学

職・氏名 准教授・内藤 裕二